

7月30日
木に触れて親子で作品作りに挑戦
夏休み親子トンカチ広場を開催



町主催による「夏休み親子トンカチ広場」が7月30日、町林業多目的センターで開催されました。親子で木に触れ合う機会を作ろうと木育の一環として毎年行われているもので、子ども5人、大人7人、合わせて12人が参加。親子での夏の思い出づくりや夏休みにむけた自由研究として熱心に作品を作っていました。作品はどの家庭も力作ぞろい、子どもたちは普段使い慣れないのこぎりや金づちの使い方を家族に教えてもらいながら、上手に作業をしていました。

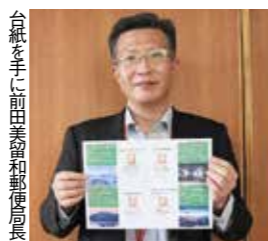
カメラスケッチ
広報マンが行く!!
このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにつけかけます。お気軽にご連絡ください。
まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)

8月24日
本番さながらの緊張感
中小企業同友会・町商工会による面接指導を実施



北海道中小企業同友会くしろ支部摩周地区会(宮田敬朗会長)による面接指導が8月24日、就職を希望する弟子屈高校の生徒9人を対象に行われました。同会が町商工会と協力し、13年前から実施。外部講師として会員6人が面接官となり、生徒1人ずつと模擬面接に臨みました。会員の皆さんからは、面接時の声の大きさや姿勢、話し方などのアドバイスの後、志望動機や時事問題などについて質問し、模擬面接の雰囲気は本番さながらの緊張感に包まれていました。

8月8日
阿寒摩周国立公園名称変更5周年記念
町内4郵便局を巡るスタンプラリーを開催



町内の郵便局主催による、弟子屈・美留和・川湯・屈斜路の町内4郵便局を巡る小型印スタンプラリーが、8月8日から10月31日まで開催されています。阿寒摩周国立公園の名称変更5周年を記念し、国立公園の魅力や町民の方や観光客の方に紹介したいとして開催されたもの。小型印は「第11回弟子屈フォトコンテスト」の入賞作品から、各郵便局のエリアの写真を使用し作成されました。地域のエリア情報や小型印の元になった写真が配置された、特製記念押印台紙も無料で配布されています。4局の小型印を全て押印した方には、絵はがきが1葉プレゼントされます。ぜひ巡ってみてはいかがでしょうか。

8月26日
美しい景観と安らぎの提供に貢献
日の出自治会に道路功労者表彰



令和4年度道路功労者表彰伝達式が8月26日、町役場で行われ、日の出自治会が表彰されました。式には、同自治会の塩沢紀雄会長、谷口秀美副会長が出席し、井上勝伸釧路開発建設部長から表彰状が伝達されました。国土交通省が実施している「道路ふれあい月間」の行事の一環として、道路清掃・美化活動などに貢献された団体や個人に日本道路協会が表彰するものです。同自治会は、国道243号線日の出バイパス付近を中心に、花壇への植栽やごみ拾いなどの活動を継続して行ってきたとして、今回の表彰となりました。

8月24・25日
弟子屈の自然観光について理解を深める
森林講座とアカエゾマツの森の散策を実施



摩周湖観光協会(渡辺隆幸会長)主催による、「森林講座」と「アカエゾマツの森の散策」が8月24日と25日に、弟子屈中学校1年生を対象に開催されました。講師に東京農業大学教授の上原巖さんを迎え、アカエゾマツの特徴について学び、川湯温泉の「アカエゾマツの森」を散策。弟子屈の自然観光について理解を深めました。24日の講座では、同中学校周辺で採集できるアカエゾマツやナナカマドなどの枝葉を使用したアロマウォーターを作成。25日の散策では、森を歩く中で植物を観察し、香りも確認するなど、五感を使って楽しく学びました。



湖心まで船で移動



摩周湖の沿岸の様子

調査には同協議会の当町をはじめ、摩周湖周辺5町と関係者が参加。湖心まで船で移動し、採水や透明度測定などを行いました。透明度測定では、直径30cmほどの白い円盤を湖に沈め、円盤が見えなくなった深さを透明度として測定します。今年の透明度は20.2mを記録し、前日に降った雨の影響もあり、昨年よりも5.6m低くなりました。

神秘の湖を守るために

摩周湖モニタリング調査



円盤を使用し透明度を測定

もって終了。調査継続のため、同年11月に本町と周辺地域である清里町、別海町、中標津町、標茶町の5町が主体となる同協議会を設立しました。調査はクラウドファンディングで募った資金などで実施され、今年度は67人の支援者の方から117万円の寄付が寄せられました。

これまで国立環境研究所が湖水環境モニタリング調査を行っていましたが、平成30年8月の調査をもって終了。調査継続のため、同年11月に本町と周辺地域である清里町、別海町、中標津町、標茶町の5町が主体となる同協議会を設立しました。調査はクラウドファンディングで募った資金などで実施され、今年度は67人の支援者の方から117万円の寄付が寄せられました。

町の話



CloseUp Topics

豪華列車の運行で北海道を応援

「ザ・ロイヤルエクスプレス」摩周駅・川湯温泉駅に入線



専門スタッフの方と記念撮影



皆さん笑顔で出発されました



豪華列車をバックにバイオリンの生演奏

東急(株)やJR北海道が運行する、道東などを3泊4日で周遊する観光列車「ザ・ロイヤルエクスプレス」が、北海道クルーズトレインが、8月27日、9月3日、17日、24日の計4回、摩周駅と川湯温泉駅に入線しました。川湯温泉駅到着時には、町民の方や鉄道ファンが手持ち旗や横断幕で乗客を出迎えました。ホームでは同列車の音楽演出を担当するバイオリニストによる生演奏が披露され、出迎えた町民などの皆さんも喜んでいました。同列車の乗客の皆さんはバスに乗り換えて7月にオープンした「摩周湖カムイテラス」から摩周湖を観光。川湯温泉駅に戻ると再び列車に乗車し、町からは渡辺体験牧場で作られている「牛のおっぱいのむヨーグルト」がプレゼントされ、川湯温泉駅を出発しました。また、今回の運行に先駆け、7月27日の試験運行の際には町内の小学生を対象に弟子屈町未来こども協議会(目黒厚子会長)主催による体験試乗会が実施され、23人が参加しました。川湯温泉駅から斜里駅まで、車窓からの景色や専門スタッフの方との交流を楽しみました。車内で行われたバイオリンの生演奏では町内小学校の校歌が演奏されるサプライズもありました。斜里駅では帰りの列車の切符の購入体験も行い、児童たちは普段は体験できない列車の旅を満喫しました。

同列車の乗客の皆さんはバスに乗り換えて7月にオープンした「摩周湖カムイテラス」から摩周湖を観光。川湯温泉駅に戻ると再び列車に乗車し、町からは渡辺体験牧場で作られている「牛のおっぱいのむヨーグルト」がプレゼントされ、川湯温泉駅を出発しました。また、今回の運行に先駆け、7月27日の試験運行の際には町内の小学生を対象に弟子屈町未来こども協議会(目黒厚子会長)主催による体験試乗会が実施され、23人が参加しました。川湯温泉駅から斜里駅まで、車窓からの景色や専門スタッフの方との交流を楽しみました。車内で行われたバイオリンの生演奏では町内小学校の校歌が演奏されるサプライズもありました。斜里駅では帰りの列車の切符の購入体験も行い、児童たちは普段は体験できない列車の旅を満喫しました。